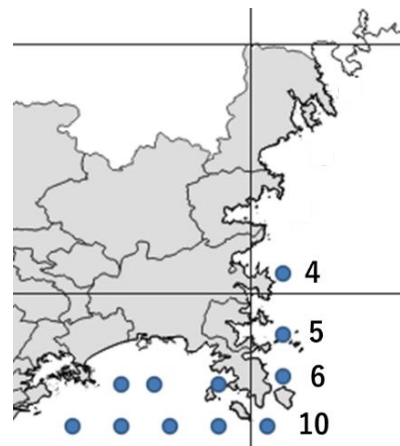


令和8年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.1)

令和8年4月21日
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和8年4月13日
- 2 調査地点 右図の4定点(St. 4, 5, 6及び10)
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
 - 1) 水温: 表層で8.1~10.5℃の範囲にありました。
 - 2) 貝毒原因プランクトン出現数
 - ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) は St. 5で10細胞/L、St. 10で70細胞/L確認されました。
 - ・下痢性貝毒原因プランクトン (*D. acuminata*) は St. 4及びSt. 5で10細胞/L、St. 6及びSt. 10で20細胞/L確認されました。



調査結果表(4定点)

調査地点図

St.	日時 水深 (m)	透明度 (m)	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)							
				<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
				4月13日	2月24日	4月13日	2月24日	4月13日	2月24日	4月13日	備考
4	4月13日 10:29 81.7 m	4.0	8.1	0	0	0	0	10	0	0	
5	4月13日 9:52 35.4 m	9.0	8.2	10	0	0	0	10	0	0	
6	4月13日 9:06 66.7 m	8.0	8.4	0	10	0	0	20	0	0	
10	4月13日 11:07 83.7 m	8.0	10.5	70	0	0	0	20	10	0	

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水